

国際交流員のコラム

●人生初のおはら祭りに参加しました！●

—鹿児島県国際交流員 キム・ジュヒ（韓国出身）—

11月2日から3日まで鹿児島市で開催された第73回おはら祭に参加しました。おはら祭は1949年に始まった南九州最大規模のお祭りです。おはら祭りの総踊りには約2万人を超える人々が参加し、鹿児島の人にはなじみのある郷土民謡「おはら節」や「鹿児島ハンヤ節」、そして渋谷の鹿児島おはら祭で使われる「渋谷音頭」などの曲に合わせて南九州最大の繁華街、天文館一帯で行われる鹿児島の秋を代表するお祭りです。

私は2日の夕方に行われた前夜祭に県庁おはら同好会の一員として参加しました。おはら祭の数日前から練習に参加し、万全の準備をしました。私はおはら祭に参加するのが初めてだったので、ちゃんと踊ることができるか心配していましたが、意外と振りが簡単で繰り返しの振りもたくさんあって、すぐ覚えることができました。また、曲も初めて聞きましたが、とても楽しくて曲に身を任せて楽しく練習することができました。



おはら祭りの名物「花電車」

当日、国際交流課の仲間たちと天文館に集合しました。すでにたくさんの参加者と見物人が集まっていて、お祭りの雰囲気で盛り上がっていました。県庁のおはら同好会は、朝日通りから天文館通まで、市電2駅ほどの距離を



県の特産品がプリントされたハッピーを着ました

約1時間の間踊りながら移動しました。最初は1時間も踊るということで大変ではないかと心配していましたが、思ったよりは前に進まず、合間合間に休む時間もはさまれていたもので、そこまで力を入れずに踊ることができました。本番に向け練習を繰り返しましたが、やはり100パーセント完璧に踊るのは簡単ではありませんでした。しかし、私が参加した前夜祭は、おはら祭を楽しみたい人は誰でも参加できる時間だったので、私のミスもかわいく見てもらえた



塩田知事と国際交流員の同僚

と思います（笑）

私はお酒が苦手なので普通にお茶を飲みましたが、お酒が好きな方々は鹿児島県の代表特産品である芋焼酎を飲みながらおはら祭を楽しみました。

国際交流員を目指して準備した時から日本で一番やってみたかったことの一つがその地域の祭りに参加することでした。今回、その目標を達成することができて本当



おはら節を踊っている私です(笑)

に嬉しくて楽しかったです。鹿児島最大の祭りであるおはら祭は、簡単な振り付けさえ覚えれば誰でも参加できる祭りです。私のような外国人も喜んで入れてもらえるおはら祭で、鹿児島と鹿児島の人々の情を感じることができました。これは本土の最南端に位置しているため昔から開放的な姿勢で多様な文化や物を受け入れた鹿児島の地域的特性とも関係があるかも知れないと思いながら私は今日も頭の中から離れない「渋谷音頭」を口ずさんでいます（笑）



県庁おはら祭り同好会の集合写真